

HABANERA × The Blue Aurora



ハバネラ サクソフォン・カルテット × ブルーオーロラ サクソフォン・カルテット

サクソ界のエリート集団×日本のトップ・プレイヤーたち
白熱したステージから目が離せない!

《ハバネラSQ 四重奏》

C.ドビュッシー / ベルガマスク組曲
Claude Debussy / Suite bergamasque

I.ゴトコフスキー / サクソフォン四重奏曲より
Ida Gotkovsky / Quatuor de Saxophones GB4364

《ハバネラSQ & BASQ 八重奏》

A.ボロディン / 中央アジアの草原にて
Alexander Borodin / In the Steppes of Central Asia

B.バルトーク / 弦楽のためのディヴェルティメントより
Béla Bartók / Divertimento

R=コルサコフ / シェエラザードより
Rimsky-Korsakov / Scheherazade, Op.35

他
予定

京都

10/31(水)

18:30開場 19:00開演

京都コンサートホール アンサンブルホールムラタ



京都コンサートホール
KYOTO CONCERT HALL



京都の秋
音楽祭

チケット

全席指定 ●一般:4,000円 ●学生(25歳以下)^{*1}:2,000円 ●会員^{*2}:3,600円

*1) 学生券は京都コンサートホール・ロームシアター京都のみで取扱。窓口でご本人様が証明書をご提示ください(オンライン購入不可)。
*2) 会員: 京都コンサートホール・ロームシアター京都Clubと京響友の会の会員が対象。

チケット
発売日

●会員^{*2}先行:7月14日(土) 10:00~ ●一般発売:7月22日(日) 10:00~

チケット
予約

●お電話/窓口

京都コンサートホール
☎ 075-711-3231
10:00~17:00 第1・第3月曜休館
※休日の場合はその翌平日

ロームシアター京都
☎ 075-746-3201
10:00~19:00 年中無休【臨時休館日を除く】

●ローソンチケット

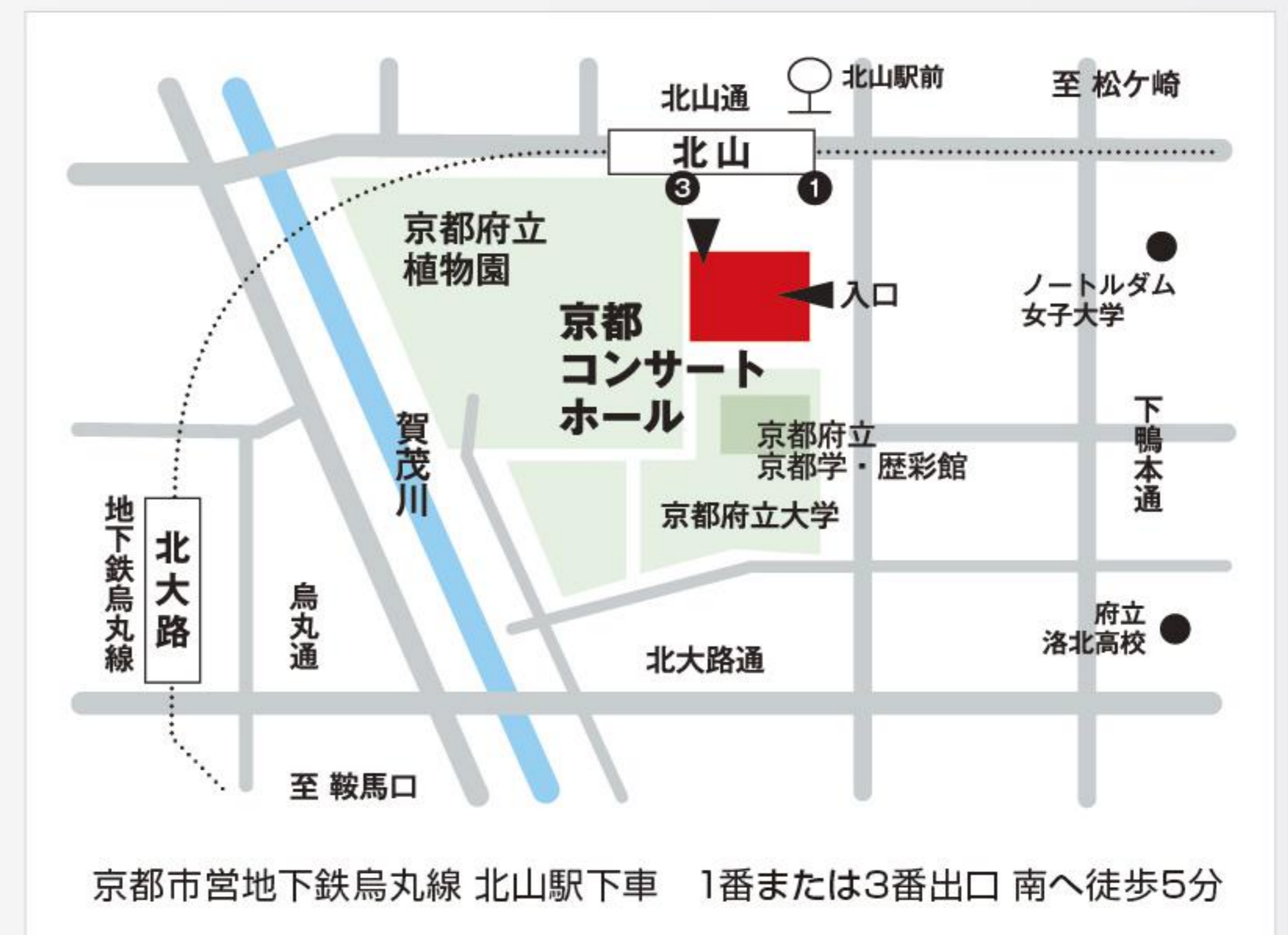
24時間自動音声予約
(Lコード:53536)
☎ 0570-084-005
発売初日は10:00より受付

●インターネット(24時間)

京都コンサートホールHP
www.kyotoconcerthall.org



QRコードからアクセス



京都市営地下鉄烏丸線 北山駅下車 1番または3番出口 南へ徒歩5分

*未就学児のご入場はご遠慮ください。 *都合により出演者、曲目が変更になる場合がございます。尚、それによる払い戻しは致しません。予めご了承ください。
*お支払い後のキャンセルや座席の変更はお受けできません。

【お問い合わせ】 京都コンサートホール 075-711-3231 (10:00~17:00 第1・第3月曜休館)

■主催:アスペン ■共催:京都市、京都コンサートホール(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団) ■協賛・協力:野中貿易株式会社 ■後援:村田機械株式会社

ハバネラ サクソフォン・カルテット

Quatuor HABANERA

1993年、サクソフォン・カルテットの持つ既存のイメージと音色を刷新しようというプロジェクトのもと、パリ国立高等音楽院のクロード・ドゥラング教授の門下生たちによって結成された。メンバーは全員、同音楽院室内楽科を一等賞にて卒業している。結成以来、芸術的な出会いの赴くままに道を歩んできた彼らは、新曲の初演、特に現代音楽において、G. リゲティ、S. ライヒ、棚田文紀、F. レヴィー、A. マルケアス、P. ルルーなど数々の作曲家たちの新作初演を行った。また、大阪国際室内楽コンクールをはじめ、ボルドー、デュッセルドルフなどで開催された国際コンクールで次々と優勝するなど、8つの国際コンクール優勝歴を誇る。セルマーのサクソフォンとマウスピースは、彼らの演奏力の高さに貢献している。2015年には、大阪国際室内楽コンクール以降10年ぶりの来日を果たす。

クリスチャン・ヴィルトウ (ソプラノ・サクソフォン) Christian Wirth, Soprano Saxophone



パリ国立高等音楽院でクロード・ドゥラング教授に師事し、サクソフォンと室内楽の両方で一等賞を得て卒業した後、難関といわれる同音楽院最高課程(ソリストコース)入学試験に両科共に合格し、さらに勉強を続ける。サンノン・ラ・ブレテーシュ・アドルフ・サクソ国際コンクール第1位など、数々の国内外の音楽コンクールに入賞。ドイツ・グラモフォンから発売された作曲家ルチアーノ・ベリオ自身が芸術監督を務めた「セクエンツァ集」のCDで演奏を担当する。これまでにパリ・オペラ座管、パリ管、フランス国立管、トゥールーズ管、コンセル・ラムルー管、アンサンブル・アンテルコンタンポランなど数々のオーケストラと、P. ブレーズ、D. ロバートソン、M. ブラッソンほかの著名な音楽家の指揮により共演している。ギャルド・レピュブリケ管吹奏楽団アルト・サクソフォン奏者。パリ市立13区音楽院教授。

スィルヴァン・マレズュー (アルト・サクソフォン) Sylvain Malézieux, Alto Saxophone



リオン国立高等音楽院にて一等賞を得て卒業。サクソフォンをM. マイヤール、S. ビジョンの各氏に師事。1995年パリ国立高等音楽院を審査員全員一致の一等賞を得て卒業。サクソフォンをクロード・ドゥラング教授に師事。1996年同音楽院室内楽科を卒業。M. モラゲス、L. ハグディ氏に師事。その後、同音楽院室内楽科最高課程に進む。南仏ギャップで開催されたギャップ・ヨーロピアン・サクソフォン・コンクールのファイナリスト。オーケストラ奏者としてG. バンジャマン、P. ブレーズ、J. メルスイエ、D. キタエンコ、O. サラベルジェ、P. ロフェ、佐渡裕らと、フランス国立管、コンセル・ラムルー管、シュレスヴィヒ・ホルシュタイン音楽祭管(ドイツ)など数々のオーケストラの中で演奏する。弱冠20才でサクソフォン教員免状を取得。現在、エヴルー音楽院教授。

ファブリツィオ・マンクーゾ (テナー・サクソフォン) Fabrizio Mancuso, Tenor Saxophone



1984年来4年間 E. フィリペッティ、L. キアヴァテッラ、G. ディパッコの各氏のもと、イタリア南部シチリア島メッシーナにあるコレリ音楽院でサクソフォンを学ぶ。1987年8月、ペスカーラで行われた講習会でC. ドゥラングとS. ビジョンの各氏に学び、何年間かフランスへの留学を勧められる。リオン国立高等音楽院を一等賞を得て卒業。サクソフォンをS. ビジョン氏に師事。その後、パリ国立高等音楽院へ入学。1994年アドルフ・サクソ国際コンクールで2位を受賞し、パリ国立高等音楽院を一等賞を得て卒業。ミラノ・スカラ座管とD. ロバートソンの指導でL. ベリオのオペラの最新作「オウティス」を初演に参加。1997年サクソフォン教員資格を取得。現在、アヌシー国立音楽院助教授、ギャップ・ヨーロピアン・サマー・ユニヴァーシティー教授。

ジル・トレソス (バリトン・サクソフォン) Gilles Tressos, Baritone Saxophone



大学で音楽学を学ぶ傍ら、メッツ国立音楽院でサクソフォンを学ぶ。その後、パリ国立高等音楽院を一等賞を得て卒業。サクソフォン教員免状を取得し、1990年に弱冠20才でポワチエ国立音楽院教授に任命されるとともに、ポワチエ市教育委員会に教育アドバイザー兼後見人として参加している。また、フランスの国家資格である、サクソフォン教員免状やサクソフォン教員資格の審査委員でもある。また、作曲家たちとのコンタクトも保ち続けており、B. マントヴァーニ、J.-L. デフォンテーヌ、S. W. ヤッセン・ヴォデニチロフ、J. メーラ、P. クラナークからは作品を献呈されている。これまでにパリ・オペラ座管、ポワトゥー=シャラント管、イル・ドゥ・フランス管、フランス国立管などと共演した。

ブルーオーロラ サクソフォン・カルテット

The Blue Aurora Saxophone Quartet

“サクソ界の革命児”平野公崇が、同じ音楽的志向を分かち合える仲間であり、ソロ・トップ・プレイヤーとしてもそれぞれ活躍する奏者と共に結成したサクソ四重奏団。グループ名は武満徹の作品『一柳慧のためのブルー・オーロラ』に由来する。2011年、デビューCD「ファースト・ブルー」を、翌年にはバツハ作品を集めたCD第2弾「Blue BACH」を、最新CD「和樂」は2015年9月にリリースされている。結成以来各地で公演を行い、クラシック作品はもとより、ジャズ・テイスト、即興等を取り入れた多彩なプログラムで会場を沸かせ、新たなファンを獲得している。2015年、16年、フランスの「ハバネラ サクソフォン・カルテット」の約10年ぶりの来日時には、鮮烈なコラボレーション・プロジェクトを実現させた。2016年9月より、バリトンに新メンバー本堂誠を迎えている。

平野 公崇 (ソプラノ・サクソフォン) Masataka Hirano, Soprano Saxophone



正統派クラシックから、即興、ジャズまで、幅広いフィールドを縦横無尽に駆け抜ける実力派サクソフォニスト。東京藝術大学卒業後、パリ国立高等音楽院で学び、在学中にJ. M. ロンデックス国際コンクールを制し、日本人として初の優勝者となる。これまでにコンテンポラリー作品と即興で構成された異色のデビュー・アルバム『ミレニウム』、ジャズメンとのセッションを収録した『ジュラシック』、待望のクラシックアルバム『クラシカ』、最新アルバムは『C. P. E. バツハ: シンフォニア』などこれまで6枚のCDをリリース。オーケストラとの共演も多く、日本テレビ「深夜の音楽会」からの委嘱作品「7つの絵〜有元利夫に捧ぐ」では作曲家としても高い評価を受け国内外での再演が続いている。東京藝術大学、エリザベト音楽大学、東邦音楽大学、洗足学園音楽大学非常勤講師。フランスのアカデミー・ハバネラ講師。

田中 拓也 (アルト・サクソフォン) Takuya Tanaka, Alto Saxophone



15歳よりサクソフォンを始め、東京都立芸術高等学校を経て、東京藝術大学音楽学部および同大学院修了。第25回日本管打楽器コンクールで第1位、および特別大賞、文部科学大臣賞、東京都知事賞を受賞し大きな注目を集める。優秀学生顕彰事業大賞受賞。東京藝術大学在学中にアカンサス賞受賞し、第6回アドルフ・サクソ国際コンクールでも入賞した。第81回読売新人演奏会、第8回日本サクソフォン協会新人演奏会に出演したほか、サクソフォン初の「紀尾井ホール ニューアーティスト・シリーズ」に出演し好評を博す。また雑誌にインタビューなどが掲載され、テレビやラジオにも出演、全国各地で様々なコンサートを行う。近年はソプラニーノ・サクソからバリトン・サクソまで、自前の5本の楽器でソロ活動も積極的に行う。現在、洗足学園音楽大学非常勤講師。

西本 淳 (テナー・サクソフォン) Jun Nishimoto, Tenor Saxophone



大阪音楽大学音楽学部器楽学科卒業。同大学院音楽研究科管弦打研究室修士課程修了。ノナカ・サクソフォン・コンクール・クラシック部門第1位。第8回松方ホール音楽賞・選考委員奨励賞受賞。平成18年度坂井時忠音楽賞受賞。これまでに、東京オペラシティ「コンポーザム2011〜サルヴァトーレ・シャリーノの音楽」にソリストとして出演するほか、2015年1月いづみシンフォニエッタ第34回定期演奏会において、ディアナ・ロタル作曲「シャクティ」のソリストとして関西初演を務め、その圧倒的な存在感で好評を博す。NHK-FM「名曲リサイタル」、NHK「BSクラシック倶楽部」等に出演。日本ウインドアンサンブル首席コンサートマスター。大阪音楽大学准教授、相愛大学・武庫川女子大学非常勤講師。

本堂 誠 (バリトン・サクソフォン) Makoto Hondo, Baritone Saxophone



東京藝術大学音楽学部および同大学院修了。パリ国立高等音楽院第一課程にて学ぶ。2017年サクソフォン科、並びに室内楽科を最優秀の成績で修了。在学中には、アムステルダム音楽院へ短期交換留学し研鑽を積む。ソリストとして、2013年第7回スロヴェニア国際コンクール、2014年アドルフ・サクソ国際コンクール(仏)ソリスト部門、2015年第2回アンドラ国際サクソフォンコンクールの3つの国際コンクールで優勝。また2017年には、第34回日本管打楽器コンクール第1位、および内閣総理大臣賞、特別大賞、聴衆賞を受賞。NHK-FM「リサイタル・ノヴァ」に出演。これからますます目の離せないサクソフォニストの一人と言われている。

ブルーオーロラ サクソフォン・カルテット / ©ノザフヒロミチ(CAPSULEOFFICE)

フランスで開催されている「アカデミー・ハバネラ」待望の再来日決定!

アカデミー HABANERA IN JAPAN vol.3

2018年10月26日(金)~27日(土)
場所: 横浜市青葉区民文化センター フィリアホール

8つの国際コンクール優勝歴を誇る世界屈指のサクソフォン・カルテット
ハバネラ サクソフォン・カルテットとブルーオーロラ サクソフォン・カルテット
2つのカルテットによる室内楽講習会を開催!